

【研究課題名】 915 当院における予期せぬ心停止症例の検討

【実施責任者】 医療安全推進室 病院教授 安宅 一晃

【実施分担者】 麻酔科学教室 看護師 永田 明恵
麻酔科学教室 医員 内藤 祐介
集中治療部 准教授 井上 聡己
中央手術部 学内講師 田中 優
麻酔科学教室 教授 川口 昌彦

【研究の意義】

入院患者における予期せぬ心停止症例数は、その定義の不確かさと症例数の把握の困難さから、明確にデータ化されていない現状にある。近年、患者の状態悪化6～8時間前には循環および呼吸状態において何らかの異常を認める¹⁾と言われており、それらの徴候を知覚した場合には早期から対応できるようRapid response systemを立ち上げている施設も少なくない。今回、当院における予期せぬ心停止症例数を把握することで、当院の現状を知り問題点の抽出および今後の課題検討に繋がると考える。

【研究の目的】

過去3年間の入院患者における予期せぬ心停止症例を検出する。

【研究の方法】

研究デザイン：後ろ向き観察研究

研究対象者：当院（奈良県立医科大学附属病院）において2011年4月1日～2014年3月31日に入院となった患者。

データ収集：電子カルテシステムの「各種資料」→「電子カルテシステム届出等様式集」→（様式8-10）診療科横断的研究における電子カルテシステムデータ抽出申請書を使用し、2011年4月1日～2014年3月31日における「退院決定・死亡」患者を抽出。

抽出した全患者の経過について電子カルテシステムにて確認し、予期せぬ心停止症例と判断した患者の抽出を行う。“予期せぬ心停止”とは、①主治医の判断する余命を大きく逸脱した心停止 ②看護師等が患者の異常を知覚しながらも、有効な加療が実施されず発症した心停止 ③DNAR（do not attempt resuscitation）の意向を確認した患者を除く ④予期せぬ心停止症例であるかの判断は、専門医およびその他の医療従事者の2名で確認する としており、これらの①または②のうち、③かつ④を満たすものである。今回の抽出においても、当該研究者および専門の医師の2名で判断する。

これらの基準を満たす患者を抽出後、当院における予期せぬ心停止発症頻度を算出、および24時間以内に何らかの異常を示す徴候を認めているか、その徴候の有無および内容を診療情報録から抽出・分析する。

【研究機関名】 奈良県立医科大学 麻酔科学教室

【個人情報の扱い】

個人情報については、患者情報を外部ネットワークから遮断されたコンピューターで入力管理し、各症例で統計整理番号を割り付けし、その後患者ID、氏名、生年月日を削除して連結可能匿名化情報として、別ファイルを作成したうえで、統計学的処理は、別のコンピューターにておこなう。

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：麻酔科学教室 安宅 一晃

〒634-8522

奈良県橿原市四条町 842

TEL 0744-22-3051